五夕日刊
磐城時報
福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷人　同所
印刷所　磐城時報社
福島縣石城郡平町紺屋町十五
發行所
一部金貳錢　一ケ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

平水道の擴張案
原案通り可決
直ちに工事施行認可稟請
三十七萬圓の大事業

平町の上水道擴張工事は屢報の如く工費三十七萬余圓を投じ、昭和四年度、同五年度の二ケ年の繼續事業として行ふ計劃をたて、東京市茂庭工學博士に設計を依頼し調査をすゝめてゐたが全部結了したので愈々五日の平町會に提案した、同工事方法は別項記載の如くであるが、工費三十七萬圓は

七萬二千圓　縣費補助
九萬圓　國庫補助
二十萬圓　起債
八千圓　町費

の計劃で、昭和四年度支出額は十五萬九千十六圓、同五年度支出は二十萬九百八十六圓である平町會では大多數を以て原案通り可決したので、町當局では直ちに事業施行認可、國庫補助、縣費補助の申請をなす事になつた。

平傳染病院
十一月完成

平町傳染病院は工費七千余圓で十月から着工し本月中に完成の豫定であるが、工費の中四千圓は起債の豫定の處起債三千圓とし千圓を縣補助に仰ぐ事になつ

道を開鑿し、再び東洋一を誇る大炭礦建設を目論み長屋建設については既に測量も了したと傳へられてゐるが、財界不況の折柄同社が千五百戸の長屋を平町に建設し、又鑛業所を平町に置くといふことは疲弊し切つてゐる同地方の財界に大なる刺戟を與へるものと町民は非常に期待してゐる。

▲教員に慰勞金

平町では元平商業學校教諭心得三澤德義氏に慰勞金として三十二圓を贈る事になつた。

木炭同業
役員決る

濱三郡木炭商業組合秋季總會は三日午前十一時から元石城郡衙に開會、昭和二年度の決算承認に三年度豫算追加の件を審議したが、追加豫算については論議百出し容易に決せず四日午前十時から引續いて再開審議し原案通り可決午後一時から役員選擧の結果左の諸氏當選した

▲組合長、早川清久　▲第一支部長、草野米彌　▲第二支部長、久保田清　▲第三支部長、塩谷應升。

古河、入山礦
聯合運動會

三日磐中校で石城郡好間村古河炭礦對湯本町入山炭礦從業員聯合第一回陸上競技會は三日午前九時から平町縣立磐城中學校グラウンドに於て開催されたが、祭日のことゝて觀覽人も多くそれに炭礦從業員の競技會と言ふことが人氣を呼び非常に盛會であつた。

平婦人會に
役員決定

平町の智識階級の婦人が發起となり、滿二十六歳以上の婦人を會員とし生派改善、相互の親睦を目的とした平婦人會を御大典記念に組織する計劃を樹て各種の準備を急いでゐたが、三日午前十一時から平町第二小學校講堂に於て創立發會式を擧行した

少年を手先に
古物商悪事

石城郡玉川村古物商水戸部泰次郎（五二）は二日平署に召喚され贓物故買として伊藤司法主任の取調を受けたが、同人は同村少年數名に豊間村大敷漁業事務所の網を前後十數回にわたり竊取させ賣却してゐたものらしい。

▲窃盜少年捕はる

二日午前十一時頃平驛にうろついてゐる少年の擧動が不審なので平署員が本署に連行取調べた所石城郡大浦村根本三吉（假名）と判明引續き取調べ中。

教員庭球
好間校優勝

磐城三郡教員庭球大會は四日午前八時から平町平商内學校コートで擧行したが、決勝戰は平第一校大内、井上組と好間校高橋、佐藤組で四對一で好間校が優勝した。

大浦消防組紛擾
中坪部落總辭職
幹部排斥案が容れられぬため

大浦村消防組第六部同村大字大字大等學校辯論大會は四日午前十時から磐城中學校に開催、磐中から十九名、平商校から九名、双方一チーム中學から二名の選手が壇上で熱辯を吐き午後二時終了した。定、事業計劃等を協議の上、役員の選擧を行つた結果、會長に

古河第一鑛業所
坑夫長屋も建設

大正六年以來工費六百萬圓を投じて東洋一の大坑を開鑿し古河王國の第一歩を築いた石城郡好間村古河炭礦が、大正十五年の九月千立方の大水脈に遭遇し狀態に陷かれて來たので更に一歩を進むるため東京本社では古河社長初め幹部間に竪坑排水策の計劃で、昭和四年度支出額は十五萬九千十六圓、同五年度支出は二十萬九百八十六圓である平町會では大多數を以て原案通り可決したので、町當局では直ちに事業施行認可、國庫補助、縣費補助の申請をなす事になつた。

平町會

平町會は五日午前十時召集左の件を協議した。

一、昭和三年度平町歳入出追加及更正豫算の件
二、小學校建築費繼續年期支出方法變更の件
三、平町上水道擴張工事施行認可稟請に關する件
四、平町上水道工事費國庫補助申請の件
六、平町上水道工事費充當起債の件
七、平町上水道擴張事業費收支豫算の件
八、平町上水道擴張事業費繼續費支出方法の件
九、小學校基本財産運用變更の件
十、瓦斯營業稅附加稅不均一課稅の件
十一、役場新築の件

濱三郡
辯論大會

磐城中學校辯論部主催濱三郡中

平町上水道
擴張工事方法（一）

一、取水室

水源は福島縣石城郡好間村大字上好間字大畑西北に當り好間川俗稱大瀧より既設水路二百六十間を利用同点に前計劃同様の混凝土造にて巾六尺長九尺六寸の長方形取水室を築造し内部を二ツに區分し閘閉器を設け水位の調節を計る設備とす尚ほ室の隣りに内徑二尺角の混凝土桝を築造し同所に水位標示器を備へ常に取水室内の水位を觀測し取入量を測定し得る裝置とす取水室より直ちに内徑四百粍鐵管を以て自然流下法により着水井に導水す

二、導水管

水管は内徑四百粍鐵管を以て取水室出口を起点とし直ちに好間川を伏越横斷し既設鐵管線路に沿ひ測点三二、〇間の点に於て四〇〇、二五〇粍丁字管を以て接合し之より以下全部を四百粍鐵管一條に敷設替し途中好間川を伏越横斷すること二ケ所好間村大字上好間字上野原淨水場地内着水井に達す此延長壹千貳百八拾間なり地盤軟弱の個所には基礎工事を施し河川横斷は伏越として混凝土工を以て覆ひ相當豫防工事を行ふものとす導水本管線路必要の個所には阻水弁排氣弁及泥吐管を設く

三、着水井

取水室より内徑四百粍鐵管に依り着水井に入る着水井は内徑八尺深八尺の圓形混凝土造にして基礎厚一尺五寸側壁は裏階段付とし上部厚一尺五寸下部厚二尺の混凝土を施し表面厚三分の防水モルタル塗とし尚ほ隣には巾二尺深三尺三寸及深三尺延長三間の階段付混凝土造開渠を設け同所に巾一尺八寸の量水堰を設け水位標示器を取付流量を測定し得る裝置とす之より内徑一尺五寸鐵筋混凝土管により沈澱池に送水す此の延長四十六間五分尚ほ必要に應じ着水井より濾過池に直送する爲め内徑三百粍鐵管を以て連絡す着水井は滿水面二百十八尺とす。

珍談＝ムチナと狐
提灯を持つて案内

昭和の今日想像もされない薄氣味惡い珍談二つ……

× × ×

田村郡中妻村には昨年も狢が二匹現はれ道行く人の先に立つて提灯を持つて案内し地方の人々を山の中に連れ込んだが、獵師がその正体を發見して見事に射止めた處、本年も又々狢が現はれ去る二日同村石山音次郎四五が、歸宅の途中、立縞の着物を着た小僧になつて、その先に立つたので小癪な奴だと思つて叱つたが小僧は何かまわず笑顔をし乍ら逃げるので、音次郎はその後を追つたが、どれ程急いでも追つけず遂に山の麓まで追ひかけた。ふと音次郎は昨年の狢の事を思ひ出し、立ち止つた際、件の小僧の姿はパッと消え失せた、正しく狢の化物である

× × ×

もう一つは、田村郡岩江村豪農、森運之助方で去る十月二十九日午後九時頃雨戸を叩く者があるので誰ですかと聞くと、私はこの家の家敷稲荷であるが、三十年ぶりて子供を産みに來たから厄介になるといふ聲がしたのみで姿は見えず、翌朝家敷内に祀つてある稲荷に行つて見たら狐の子が三尾生れてゐた。村の評判となり毎日參詣人が山をなしてゐるとの事である。

鷹崎氏の結婚披露式
嘉納氏來平

平町一丁目鷹崎貞衛氏長男正見氏は既報の如く嘉納治五郎氏の令嬢篤子嬢と結婚する事となり五日東京日比谷大神宮で華燭の盛典を擧げ、同夜帝國ホテルで披露の宴を張る筈で、平町地方の披露會は來る七日午後二時平町谷口、住吉屋本店の二箇所で行ふ事になつた、當日は嘉納治五郎氏夫妻が態々平町に來り披露會に參列する筈である。

鐵道員の叫び
現業員　M生投

（二）

一晩二晩の姻戚、知巳のあのお通夜でさへナマやさしいものではない、直に自他共に危險な、交通勞働者特異な注意と緊張を以てみじかくて數年永くて三十余年つゞけるとあつては、先づ一生を通じて壽命から數年マイナスされることと必定ではないか、可成緊激な列車扱、荷物扱、旅客扱から隨分ヤ、コシイ事務を執ると云ふと「馴れてる」なんて情ないことをおつしやるが、その「馴れてる人」が必ずしも功成らず、名も遂げず、一朝退職しようものなら、龍宮から歸省した浦島ではないが急に五つ六つ一度に年をとる。

「氣でもち、氣で勤めてゐた」譯だ。五十前後でよしたる僕の知る先輩の多くは退職後數年でお陀佛となつてゐる。偉人の語を借りて「身命をつめ、一生を捧げて奉公した」と思へば浮ばれもしようが僕の樣な凡俗にはちと物足りない、サラリーだつた近年格別他と比して羨まれる程結構でもなさ相だ。

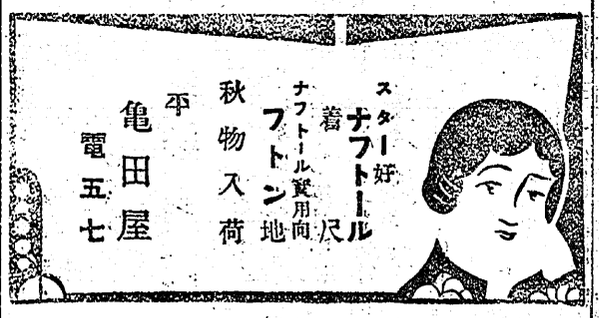
徹夜の翌、休養日は晝飯ヌキで死人の樣に灯のつくまで前後不覺に寢込むのでよく〳〵用がなければ旅行など出來ない。かるが故に當座（一日二食の理由で）下宿の婆さん歡迎もするが結局夕餉をハリ込むから程經ると待遇もしない實は年少の頃僕も「半月働けばいゝ」結構さに隨喜して御厄介にはなつた、先づ「半月徹夜半月嗜眠」の生活が僕たちの勤務と生活である。

家賃を倒し床屋逃走
罰金未納もある

平町五丁目理髮業賭博前科六犯鈴木實、は平町を食ひ詰め二十九日内緣の妻鈴木すみえ（二五）と共に行方を晦ましたので家主草野源一郎は家賃三百圓を未納になつてゐるので同人を相手取二日平署に告訴した、鈴木は罰金未納もあるので平署で行方捜索中。

駈落した職工と女工
平驛で捕はる

石城郡永戸村生れ當時郡山市日本紡績工場職工安部春秋（二三）は去る二十七日同工場寄宿舍で高三郎の所持金を盜み、同工場女工田村郡御舘村生れ青木すみね（一八）を誘拐東京方面に逃走したが、思はしくなく北海道にゆく途中平驛に下車した所を平署員に逮捕された。


スター好
ナフトール着尺
ナフトール實用向
フトン地
秋物入荷
平
亀田屋
電五七

痔の高級内服藥
「ダイサン錠」
平五　山野邊藥局

貸地廣告
古鍛冶拾番地（縣社下天理教會東早川材木店跡）
病院、商店、工場並に高級住宅地として最適地
貳百坪
右極安値永久に御貸致ます
御希望の方は電話四四又は御來談戴けば親しく御相談に應じます
平町古鍛冶拾番地【電話四四番】
阿康藥店　櫻山直意

松島名産
カキ貝御料理
カキフライ
カキなべ
ス貝
品々
洋式宴會仕出し
平田町
一の井
電話一六七番

地方にては容易に見られぬ菊人形
▲期日　自十一月三日至十一月十七日　毎日午前八時より午後十時迄
▲會場　平町元郡役所前廣場
▲入場料（大人二十錢　小人十錢）團体は半額但し五十人以上
御大典奉祝
菊花大會
▲出品　大輪菊懸崖菊數百鉢
▲菊人形數場面十數人
▲菊人形は東京より專門家を聘して作成せしもの是れが經費三千余圓
主催　平町　菊花大會

セキの藥
祛痰
鎭咳液
特約店
關内藥局
平町四丁目　電話四〇番

美味にして強壯の効著大
血をふやし肉を肥やす
滋強第一
スッポン飴
本舗　檜尾長命堂
大阪東區谷町壹
各藥舗食物品店ニテリ
スッポンヘモクロビン錠
定價三圓
スッポン酒　定價二圓
代理店
平町五丁目角
山野邊藥局

當山三十九世渡邊則成和尚十月二十二日遷化ノ處來ル七日午後三時本葬仕リ候
尚同夫人雄子去ル二日死去致シ候ニ付キ同七日午後一時葬儀執行可仕乍畧儀併而御通知申上候　敬具
十一月五日　平町性源寺
遺弟　宍戸正勝
法類總代　鮫島素雄
遺子　渡邊則雄
親戚總代　森文雄
檀徒總代　一同

印刷物の御用は……加納活版所